

科目名	1352 データリテラシー ①						単位	2単位
担当教員	ノヴァコフスキ カロル		実務経験		科目ナンバー	LIT161	開講時期	秋学期
授業概要	2年次以降の講義や演習で必要とされるデータを扱うための基礎的な力を身につける。							
到達目標	データサイエンス・AIが社会でどのように活用されているのかを理解する。データを適切に読み解き理解する力をつける。データを適切な可視化手法で他者に説明できるようになる。表計算ソフトを使ってデータを集計・加工できるようになる。							
スキルの育成方法	主に表計算ソフトを利用してデータを取り扱う。表計算ソフトの使い方に慣れ、データを様々な統計処理手法で取り扱うことで実践的に力を身につける。							

○育成するスキル											
読解力	○	文章表現力		傾聴力	○	発信力	○	会話力		批判的思考力	
外国語活用能力			自文化理解力		多文化理解力		世界の動きへの関心		日本の動きへの関心		
情報収集力			論理的思考力	○	柔軟性	○	課題発見力		問題解決力	○	
決断力	○	主体性		感情制御力			セルフモチベーション		協働力		マネジメント力

○地域に関する学習					
地域の背景学習(庄内)		地域課題の認識(庄内)		地域課題の解決(庄内)	
地域の背景学習(他地域)		地域課題の認識(他地域)		地域課題の解決(他地域)	
学びの基本学習					

[教職]中学		高校(公民)			高校(地歴)			社福士			社福任用			[演習科目]		
[AL]課題学習	○	PBL		グループW			フィールドW			プレゼン			ディベート			振り返り

授業計画		
回	授業内容	事前・事後学修内容・所要時間
第1回	社会におけるデータ・AI 利活用	課題作成 (1h)
第2回	表計算ソフトの基本操作	課題作成 (1h)
第3回	セルの参照と集計	課題作成 (1h)
第4回	度数分布表とヒストグラム	課題作成 (1h)
第5回	代表値と散らばりの尺度	課題作成 (1h)
第6回	データのグラフによる表現とデータ比較	課題作成 (1h)
第7回	データの分布	課題作成 (1h)
第8回	標本抽出と推定	課題作成 (1h)
第9回	分割表とクロス集計	課題作成 (1h)
第10回	2変量データと相関	課題作成 (1h)
第11回	時系列データ	課題作成 (1h)
第12回	仮説検定	課題作成 (1h)
第13回	回帰分析	課題作成 (1h)
第14回	まとめ	課題作成 (1h)

成績評価基準	平常課題(4割)，総合課題(4割)，タイピング(2割)の出来具合で評価する。評価の比重は担当者や受講者の到達度により適宜変更することがある。課題についてはフィードバックを行う。 欠席4回以上で不可とする。		
前提科目	情報リテラシー		後継科目
教科書	基礎プログラミングI		
参考書	データサイエンスの基礎(講談社 ISBN-10:4065170001)データサイエンス入門(学術図書 ISBN-10:4780607019)		

その他・注意事項		指定された課題を越えて問題を解いてみること。													
1.貧困		2.飢餓		3.健康と福祉		4.質の高い教育		5.ジェンダー平等		6.水とトイレ					
7.エネルギー		8.働きがい		9.産業と技術革新		10.不平等		11.まちづくり		12.責任					
13.気候変動		14.海の豊かさ		15.陸の豊かさ		16.平和と公正		17.パートナーシップ							
文理横断															